（大正十年四月二十二日 第三種郵便物認可）　縮刷十五年四月二十一日　夕刊　日曜日　第五千八百一號　[一]

勤勞所得の源泉課稅に就て

（六）

平稅務署長談

（一）月給一〇〇圓、賞與八〇〇圓、扶養家族二人、生命保險料一二〇圓の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額四〇圓に對して百分の五を乘じた二圓四〇錢から保險料の控除六〇錢を扶養家族の控除二圓を控除して差引不足が二〇錢となりますれが扶養家族の控除に對する每月の控除不足であります。その不足額の合計二圓四〇錢は賞與八〇〇圓に對し稅率を乘じて計算した稅額即ち四八圓から控除されます。で差引四五圓六〇錢の稅額となります。

（二）月給五〇圓、賞與六〇〇圓、扶養家族二人の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額三〇圓に對する每月の控除不足となります。即ち賞與に對する稅額は六〇〇圓から右の一二〇圓を控除した四八〇圓に百分の五を乘じて計算した稅額即ち四八圓から控除されます。で差引四五圓六〇錢の稅額となります。

（三）月給五十圓、賞與六〇〇圓、扶養家族二人の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額二四圓に對する每月の控除不足となります。即ち賞與に對する稅額は六〇〇圓から右の一二〇圓を控除した四八〇圓に百分の五を乘じて計算した稅額即ち四八圓から控除されますで差引四五圓六〇錢の稅額となります。

（四）扶養家族二人の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額一〇〇圓に對する每月の控除不足となります。即ち賞與に對する稅額は六〇〇圓から右の一二〇圓を控除した四八〇圓に百分の五を乘じて計算した稅額即ち四八圓から控除されますで差引四五圓六〇錢の稅額となります。

（五）扶養家族二人の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額七〇圓に對する每月の控除不足となります。即ち賞與に對する稅額は六〇〇圓から右の一二〇圓を控除した四八〇圓に百分の五を乘じて計算した稅額即ち四八圓から控除されますで差引四五圓六〇錢の稅額となります。

（六）扶養家族二人の場合

この場合は基礎控除を差引いた殘額一〇〇圓に對する每月の控除不足となり、更に扶養家族で每月控除額二圓の控除不足となりまする。即ち賞與に對する稅額六〇〇圓から右の一二〇圓を控除した四八〇圓に百分の五を乘じて計算した二八圓八〇錢から扶養家族控除の不足分二四圓を差引た四圓八十錢となります。

尙も一、二、三の計算は賞與が年末手當であり、その年分控除不足を差引いた場合ですから一誤解のないよう願ます。

十四、申告の請手續は普通一個所からどうするか給與を受ける場合には、每年最初の給與を受ける日の前日迄に扶養家族申告書を生命保險の控除申請を、支拂者を經由して其の所轄稅務署へ申請しなければなりません。基礎控除に付ては別に申告をする必要はないのであります。二個所以上から給與を受ける人は右に準じて申請の外に、どちらの支拂者から基礎控除を受けるかを定めるため必要な事項を夫々の支拂者を經由して所轄稅務署へ申告しなければなりません

芽

くろがね同人

○年每にふえゆく庭のしやくやくの此の春の芽はいくつなるらむ　梧郎

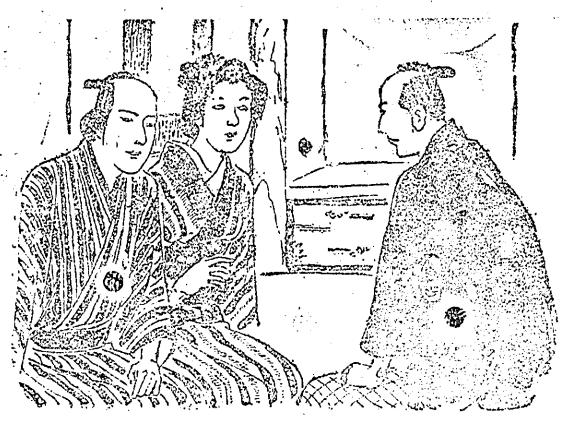
○陽のさゝぬまがきの下の凍て土の此の頃とけし草の芽のふく　雪江

○ふと見れば小庭の隅のアルメリヤ子の足もとに芽ぐみゐたりけり　松江

○物置の隅に置きかる馬齒莧は白くか細き芽を伸ばしたり　牧笛

○根を下す場所は小さけれどチユウリツプ緑增しつゝ芽の太りゆく　草丘子

○枯草山ゆけばはこ立ちやはらかくしどろにやらの芽は萠えいでぬ　康子



△天一坊訴せらるの娘を今日まで別莊に差置して背負つて參りましたから』とおしげは裸体のまゝお八重を背にし先に立つそれをおて金平が

『裸体で寒くないかナ』

『ハイ、肥わて居ますかたとは言へぬど、此方になら、始終逃せまつて体がほて居りますから寒さなぞは感じません』

『偉い女だナ、文助さまを吊すやう引上げたが大遠ひ、さまは城にした方だナ、女にしては惜しられて打倒れたが、此女し男なばまづ力士とし引き揚げ、その上衣類を脫公の別莊へ着せ、自分は丸裸、いでではないか』

『ヘエ、こんな女は滅多にございません、先づ慧星のやうな女でございます』

『とも角も紀伊國屋の別莊で休息いにすであらう』

金平は煙を挙に据えたまゝ、紀伊國屋の別莊に來た、角太郎はお八重が賊にさらはれてそれをおしげが追つてたが、何うなりしかとお配してゐる、そこへおしの衣類、襦袢を押へて猫の子

△獨逸毒ガスを使用す（一、九一五）

4月22日　△倫敦海軍々縮條約調印（昭和五）△ガブレン機（昭和一四）

4月21日　戰爭開始（一、八近江屋

（享保一四）△米西くか、それ等を聞きた、

九八△淺川神社創建（明るぎだ

治元）

『オヤまア左樣でございますか、それではわたくし共とおしげお八重さんは無事かナ』

『泥棒のために川へ投げこまれましたが、茲に居る且那樣と私と二人が助けましたから、私の布子を着せまして金平樣の御子息樣と二人で助けまして參りました』

『それはさきに角芽勞、即ち扶養家族控除の不足分二四圓を差引た四圓八十錢となります。

『紀伊國屋の御子息樣ゝで會ひましたナ』

『これは小林樣でございますか、貴方がお八重さんを助けて下さいましたか』

『イヤ〳〵自分一人で助けたとは言へぬど、此方になら、始終逃せまつて体がほて居りますから寒さなぞは感じません』

『偉い女だナ、文助さまを吊すやう引上げたが大遠ひ、さまは城にした方だナ、女にしては惜しられて打倒れたが、此女し男なばまづ力士とし引き揚げ、その上衣類を脫公の別莊へ着せ、自分は丸裸、いでではないか』

『ヘエ、こんな女は滅多にございません、先づ慧星のやうな女でございます』

『とも角も紀伊國屋の別莊で休息いにすであらう』

金平は煙を挙に据えたまゝ、紀伊國屋の別莊に來た、角太郎はお八重が賊にさらはれてそれをおしげが追つてたが、何うなりしかとお配してゐる、そこへおしの衣類、襦袢を押へて猫の子

△獨逸毒ガスを使用す（一、九一五）

4月22日　△倫敦海軍々縮條約調印（昭和五）△ガブレン機（昭和一四）

4月21日　戰爭開始（一、八近江屋

（享保一四）△米西くか、それ等を聞きた、

九八△淺川神社創建（明るぎだ

治元）

『オヤまア左樣でございますか、それではわたくし共とおしげお八重さんは無事かナ』

『泥棒のために川へ投げこまれましたが、茲に居る且那樣と私と二人が助けましたから、私の布子を着せまして金平樣の御子息樣と二人で助けまして參りました』

『それはさきに角芽勞、即ち扶養家族控除の不足分二四圓を差引た四圓八十錢となります。

『紀伊國屋の御子息樣ゝで會ひましたナ』

『これは小林樣でございますか、貴方がお八重さんを助けて下さいましたか』

『イヤ〳〵自分一人で助けたとは言へぬど、此方になら、始終逃せまつて体がほて居りますから寒さなぞは感じません』

『偉い女だナ、文助さまを吊すやう引上げたが大遠ひ、さまは城にした方だナ、女にしては惜しられて打倒れたが、此女し男なばまづ力士とし引き揚げ、その上衣類を脫公の別莊へ着せ、自分は丸裸、いでではないか』

『ヘエ、こんな女は滅多にございません、先づ慧星のやうな女でございます』

『とも角も紀伊國屋の別莊で休息いにすであらう』

金平は煙を挙に据えたまゝ、紀伊國屋の別莊に來た、角太郎はお八重が賊にさらはれてそれをおしげが追つてたが、何うなりしかとお配してゐる、そこへおしの衣類、襦袢を押へて猫の子

△天一坊訴せらるの娘を今日まで別莊に差置して背負つて參りましたから』とおしげは裸体のまゝお八重を背にし先に立つそれをおて金平が

『裸体で寒くないかナ』

『ハイ、肥わて居ますか

以前程深刻でないが 木炭不足時代に逆轉
主婦の額に深い八の字

客臘來地方のお台所を極度に惱ませた木炭飢饉は統制に關する當局の措置宜しきを得たると、各生産元の操業が比較的順調に推移した爲著しく其の間の不自由を緩和され、先ごろ迄は東京方面の親戚知己から依頼を受けた分迄贈答用なる名儀の下た木炭縣外移出統制規則施行細則、甚き少許乍ら出荷出來る程に出廻りの潤澤を來し、一面春暖の候に入ると共に木炭不足の心配は一時解消されてゐた處最近再た復た品不足の以前に逆轉し、時節柄嚴寒中はと〻豫想されるど深刻ではないが客を客とも思はぬ横柄な商店側の應對振りなどに市內各家庭の主婦をして額に深い八の字を刻ませてゐる

四倉方部警防團検閲

四倉署管內四倉、久之濱、大野、大浦、大久、草野二町四ケ村聯合警防團春季檢閲は二十一日午前八時から四倉小學校で執行、影山署長の訓示講評がある。

平局記念式

けふ遞信記念日

平局では今二十日の遞信記念日に當り午前七時四十分から同局樓上で記念式を擧行した

工業學校下檢分
開校に當面して
立花校長事務取扱來平

水際立つた準備工作に初めから全然雑音拔きで首尾克く今日の確定を見るに至つた縣立平工業學校問題は與亜の春に最も相應しい明るい話題として各方面・傳へられ、記念すべき最初の募集採礦冶金三十名、電氣四十名の生徒も、過般來市の學務課を面喰はせ、各方面から照會數に徴して前に定員に充つるものと觀られ細部に事務的準備を竣し今はたゞその開校を俟つ許りとなつたので、創設當初の校長事務取扱として此程任命された立花工學士は縣教育課內田屬と共に昨十九日來平今二十日朝市役所に齊藤市長、野崎、蓮沼正副議長其他關係各市議等と打合の上當面の暫定的校舍に充つべき舊商業校舍及び豫定敷地に就て實地下檢分を遂げ夫々計劃する處あつたが舊商業校舍の利用に就ては校長、職員、事務室及び教室の配置等は大体舊商業當時と大差ないものと觀られてゐる

果して何を齎す？ 新考査法の檢討
縣下中等校長けふ終る

實際問題としての中等學校入學新考査法に就て、その實否を檢討する會合ともべき縣下中等學校長會昨十九日から引續き今二十日も安中に開催され、內容の一部は或は一兩日中判明するではないかと豫想されてゐるが、制度の生んだ不合理は縣下の最大入學難校たる磐女は勿論、多少なり共餘の轢中、平商にも之れ無きを保證し難い處から、この實績に關する內容が發表さるる場合ありとせば、當該各校にとり來春の考査上非常に貴重な參考資料として取り入れられ且つ內申の衡に當る各小學校から極めて深い關心を拂はるるは勿論、一般父兄としても考へさせられる點が頗る多い〻

上遠野駒セリ況

石城産馬畜産組合の上遠野駒セリは十九日から二十二日まで行はれるが第一日の成績左の如し

出頭六十五、賣上價格一萬八千二百九十四圓、高四百三十一圓、平均二百八十一圓、低百三十圓

臨時陸軍看護婦採用
大陸志望者よ來れ

臨時陸軍看護婦採用試驗は來る二十六日平職業紹介所で行はれる、この試驗は傷ついた勇士の看護を望みながら赤十字看護婦の資格がなく赤誠をいれられぬ白衣の天使に軍が特に取計らつたもので資格は看護婦普通免許狀を有する身体强健な三十才以上の人で大陸に勤務衣食住は官給で俸給約九十圓である

驛前から新川へ直通
最終區間の地主も大体諒解し
幹線横斷道路近く完成

市內南町元星眼科院横より裏手下水通りに抜ける横町二十間の區間は豫定幅員四間半には逹せぬが差當り貫通の上一兩日前から一般の通行に供してゐる。而して前記の道路敷に關し從來買收の折衝に多少の時間を要したが、地主たる原野氏も市勢躍進の大局から公共上之を提供する事に大体傾いてゐるので右正式決定の上初期の擴張が行はれ、都心たる三升呉服店東側から南町を横斷し、既成の分と連繋する幅四間半の驛前＝新川端間の新道路は物の見事に完成する筈でその日も愈よ近づいて來た

斷水

市內南町配水管工事のため左記町區は二十日午後九時から翌朝三時まで斷水

中町、鍛冶町、一、二丁目全部と堂の前、十五丁目、南町、三丁目の一部

双葉農場普及協議

双葉郡廳野修練農場では濱三郡に亘り同農場の趣旨徹底を期すべく今市並に石城郡下の分は明二十一日午前十時から平第三小學校に關係小學校長を招いて協議する

東京大相撲明日乘込み

横綱双葉山の東京大相撲一行は愈よ明二十一日午前九時上りにて仙臺より平に乗り込む事となつたので驛頭の賑ひを豫想されてゐる

若人よ空を飛べ
グライダー實演近づく
平商校庭で二時間滑空

若人達に空への憧れを昂揚する縣並に帝國飛行協會福島地方本部主催にかゝる地方初のグライダー滑空實演會は既報の如く愈よ二十五日午前十一時から平商業グラウンドで行はれるが使用機は河合式2K一型練習機で約二時間滑空實演が行はれる

尙ほ一般に對しこれが豫備智識を與へるため前日二十四日夜七時から市公會堂で航空に關する映畫會を開くが多數の觀覽を望まれてゐる

陣中を聴く
……………(748)……………

磐新紙上で見たが 短歌の事を聞かれた
中支から　伊藤弘道君（通信）〔下〕

それを又松村さんは取り上げて論議すると云ふ様な狀態になつてあと一卷だつたか廢刊になつてしまつたですね。そんなことは先づ餘計な話ですけれど貴紙上の短歌を見て二三名前だけ知つてゐた人も居ましたし相變らずやつてゐるなと思ひました。短歌なんて私に益々わからなくなつて來ます。もう少し具体的に勉強して見たいと思ふのですが何んとも戰地に來てはそんなわけにも參りません、同じ金成隊の公家祐宣曹長殿は吉植庄亮の門下であるらしく『橄欖』でも一寸上の方にあるらしく短歌研究に引用されてゐた數首を見ましたし、日日新聞に出てゐたのも家には切り抜きがありましたが歌は忘れてしまひました。この人と接近したら甚だ重寶かと云ふと仲々そうでもありません。上官と部下では短歌の（略）そこでもつだつたが『伊藤、お前歌をやるのか、何かの新聞に出てゐたのを見たことがあつたなア』と云はれましたがこれも貴新聞を見たのだらうと思ひますが『やつてます』と堂々と云ふべき方も無いし、度胸もなかつたので『やるつてこともないですが』と濁して居ました。

今日は何んだか身の上話じみた下らない自己の雰圍氣ばかり喃々と書き立てゝ申し譯ありません。

そろそろ、もう松ケ岡公園の櫻の咲くのも近いでせうね、この書簡が御手許に渡る頃は綻び初める頃でせうか、御健康を祈るとともに貴紙の御隆盛を祈ります

追伸。先日私の部隊に江口隆哉と宮操子の舞踊團が來てその舞踊を見、藝術の一部分に觸れた様に恍惚として樂しく思ひました。支那の女から見ると全く日本の女の人達は綺麗だと思ひました。文化に洗練されてゐると云ふのかどうか、或は私が日本人だと云ふせいもあろうと思ひますけれど正直なところ暫くぶりで內地の女の人を見たことも戰野にての一つの愉快でありました。

○雞のなべつゝく支那酒に醉ひては歌へふるさとの唄

○生き來しと言の短かきわが戰友の肩にふるれば血の匂ひすも

○骰ころのにづめる響ききこわつゝ支那人街の春のさびしさ

○霖雨は今日もつゞけりかはやもるる雫つめたし首に腎に

○ぷすぷすと頭上を越ゆるチエツコ彈枯草なかに土煙り上ぐ

石炭の「闇」露見
三千余圓をせしめた
豐國炭礦主調べらる

平署では內郷村宮字竹の內豐國炭礦主大塚論氏（五六）を經濟違反の嫌疑で取調べてゐるが同人は昨年九月から今年四月まで神奈川縣川崎市南町丸木燃料商店外左記關係筋へ塊炭合計千九十三トンを公定値より一トン二圓乃至三圓高く一萬七千三百九十四圓で賣り渡し三千七百八十二圓の不當利益を得たものであると

東京市本郷區吉祥寺町山內九兵衛治商店、富山市驛前北國石炭會社富山出張所、四倉町酒井源太郎、內郷村綴驛前石城炭會社

アイロンの使用法宣傳

市內とら屋旅館賣り出しの『スチームアイロン』宣傳のマネキン孃二名は來る二十七、八兩日白銀町村山書店前にてその使用法を公開すると

青年校へ入學せよ
市で各方面へ注意書

青年學校は十四年度より尋常小學卒業生並に高一修了生に對しては義務制、高小卒業生には準義務制が實施され市內に於けるその第二年目の今年度新入學生六十名に對しては去る十七日入學式を擧行既に一週間二日の日割で訓練、學習を開始してゐるが市學務課では他町村から轉任した徒弟、店員のうちにまだ該當者があるものと見て左記入學年齡を示した注意書を市內各方面に配布した、義務制の實施により入學しないものは罰せられることになつてゐる

△普通科一年　昭和二年四月二日―同三年四月一日生れのもの

△普通科二年　大正十五年四月二日―昭和二年四月一日生れ

△本科　大正十五年四月二日―同十五年四月一日生れ

方面委員例會

市の方面委員例會を二十日午前九時から開き全國方面委員大會協議事項並に同大會出席者につき講議した

磐中で獻金

磐中職員生徒一同で金百圓を恤兵金として淺水校長から市役所へ寄託した

高橋夫人の美學

市內白銀町市議高橋竜松氏夫人マキ子さんは金三百圓を愛婦平分會へ寄附した

平市慶弔錄

△出生　本籍上平窪字眞似井七三滿洲國吉林省懐德縣公主嶺街河南商會胡同二四白土大三郎氏長男公昭君、本籍田町五五吳市阿賀町九〇六高橋一郎氏長女光子さん

○婚姻　東京府北多摩郡武藏野町吉祥寺二、二五五篠崎太郎氏（二八）と田町一七壺玉秀さん（二三）

拈華微笑

市內商人の惡い癖『買つて遣る』顔と公休日の戸締め

□

苟もお客様を門乞ひ扱ひとは、失敬千萬な

□

これが所謂『商業組合機能の擴充强化と商業組合新經濟の確立』だつたらサア事だ

□

襤褸に包んだ寶珠と云つた處。校舍・朽廢しても內容が立派な平工業

□

公園の散策に逝く春を寂しむ明日曜。せめて降らせたくないものだ

二十一日
【小名濱測候所觀測】

滿潮　前三、五〇　後三、〇〇

干潮　前九、五五　後九、三〇

二十二日

滿潮　前四、四五　後三、三五

干潮　前一〇、三五　後一〇、一五

新暦四月二十一日　日曜　舊暦三月十四日　甲午　佛滅　滿　星宿

▲一白　他の言を信じ過ごして抜き差しならぬ事起る▲二黒　定業に滿足して他事を思はねば福利増進す▲三碧　業務は平順なれども人の忌を受けぬやう注意▲四緑　油斷なく徐ろに活動を始むれば向上發展す▲五黄　他の術中に陥りて永く迷惑を爲すことあり▲六白　元氣旺盛にして共勞を以て直進すれば大吉▲七赤　從來よりの希望は逹するも新計畫は成らず▲八白　引きつめしつゝの切るゝが如し突發の災あり▲九紫　陰害は內より起る一家の融和を專一とせよ

新暦四月二十二日　月曜　舊暦三月十五日　乙未　大安　平　張宿

▲一白　才力に並行せざる大望を企つれば苦慮多し▲二黒　水でさも集りて大海と成る寸陰を惜しみて勵め▲三碧　周圍より壓迫あり妨害あり意に介せず勵め▲四緑　無理を通さんとしてもほれ折損終るべき日▲五黄　眼前の利益より將來を考へて行動するが吉▲六白　諸事容易に通逹せらるゝ日藥笑はつゝしむべし▲七赤　永年の希望も逹せらるゝ勢あり新計畫亦吉▲八白　注意怠らざれば令嬢に過ごし得る日病弱かい▲九紫　短慮つゝしみ滿適する時は志望自ら逹せん

天氣豫報
小名濱測候所觀測

今晩　北の風雨後曇

明日　北から南の風曇

廣告

仲立　土地建物　賣買貸借　東北商行　平驛前

他店で御氣に召さぬ時に是非一度
――常磐線東京仙臺間であらゆるクリーニング機械設備の揃つてゐる……
純ドライクリーニング　西洋洗濯　田町　白榮舍ランドリー
正直なる仕事と優秀なる技術を望まるゝ方は
設備平市第一の　白榮舍ランドリー

アイロンの底から蒸氣が吹き出る
＝電氣アイロンの時代は去る＝
實用新案　硬質陶器製
輕便スチームアイロン
特にステープル物には絶對的で其他一般織物には効果優秀なる事保証致します
本器最大特長
一、キリを吹きかけなくとも自動的に蒸氣が出ます
一、アイロンは輕く屑は殘らず然もキ、メ萬點です
一、家庭の火鉢で簡單に蒸氣が出ます
一、如何なる織物も蒸氣アイロンに優るものは有りません
自動蒸氣發生裝置　定價　金貳圓八拾錢
販賣店　濱三郡配給所　とらや旅館　平市田町三番地　電話六四八番
販賣店　平驛前　村山書店

『旨い』と一言にして盡く
神戸牛　すき燒　相始め申候
日本料理　つばき　山茶莊　電話五二〇番

池坊　盛花投入　華道會員募集
花型構成ノ原則ヲ解放
初めの者ヲ標準トシテ專門研究者並ニ教授者ノ爲ニ華道ニ關スル理論及技術ノ大要ヲ確實ニ習得セシム
教授科目　生花、盛花、投入、立華
日本華道叢觧、華道眞理、實地指導解説
教授場　平市田町五十番地市役所西三光館横トナリ
時期　毎週日曜日午前九時ヨリ正午迄夜間部アリ
『尙御希望ニ應ジ出張後援致シマス』
先崎翠峰教授場